

いわきFC大倉代表らがシーズン終了を報告



↑ J2昇格を決めたいわきFC選手ら

いわきFC大倉代表取締役ら選手が11月30日（水）、広野町役場を訪れ今シーズンの成績を遠藤智町長に報告しました。今季のいわきFCは、「90分間止まらない、倒れない」サッカーを貫き通し、チーム一丸となり快進撃を重ね、見事J3優勝を果たし、来季のJ2昇格を勝ち取りました。大倉代表は「この地域がサッカーを通して、活気あふれる地域になるよう関係機関と一体になり取り組んでいきます」と今後の抱負を語りました。

竹谷復興副大臣町内視察



↑ 広野町の化石について説明を受ける竹谷復興副大臣(右)

竹谷とし子復興副大臣が11月29日（火）に広野町を訪れ広野IGCC、二ツ沼総合公園、広野町文化交流施設を視察しました。二ツ沼総合公園では、バナナの栽培や町振興公社が産業技術総合研究所との連携による燃料費削減を図るため地中熱を利用した実証事業について説明しました。また、町文化交流施設では、恐竜の化石や土器、広野町で生まれた童謡の展示物をご覧になり「継承されている文化の取り組みに感銘を受けました」とお言葉をいただきました。

黒田惣一さんが町村監査功労者表彰を受賞



↑ 町村監査功労者表彰を受賞した黒田惣一さん(左から2人目)

元代表監査委員の黒田惣一さんが12月16日（金）、広野町役場を訪れ、現代表監査委員の鯨岡公一さん、現監査委員の門馬まりえさん同席のもと、遠藤町長に町村監査功労者表彰受賞の報告をしました。

黒田さんは、7年3か月の長きにわたり監査委員として、地方自治の振興発展に貢献され、功績が顕著であったことから表彰を受賞されました。

第4回日ASEANスマートシティ・ネットワークハイレベル会合レセプション



↑ レセプションで挨拶をする遠藤町長

第4回日ASEANスマートシティ・ネットワークハイレベル会合レセプションが12月6日（火）、Jヴィレッジで開催され、竹谷とし子復興副大臣ご臨席の下、遠藤智町長が英語であいさつしました。

レセプションでは、「第4回日ASEANスマートシティ・ネットワークハイレベル会合」に議長国であるカンボジア国土管理・都市計画・建設省長官をはじめ、ASCN各国各都市代表者など約100名が出席し、広野町で活動する茶道裏千家淡交会の呈茶や広野町の日本酒が振舞われました。

つなぎ放水訓練を実施



↑ 火点に放水する消防団員

広野町消防団は11月27日（日）、下浅見川本町地区でつなぎ放水訓練を実施しました。つなぎ放水訓練は、火事現場から消火用水源が遠い場合を想定し、素早くホースを繋いでいく訓練であると同時に、ホースやポンプの点検も併せて実施されます。今回の訓練は、自然水利の中継送水を実施し、迅速な行動・動作と基本に忠実な操作により機械器具への精通を深め、有事即応体制の確立を図るとともに、住民の火災予防意識の高揚を図る目的として実施されました。

広野こども園園児みかん狩りを楽しむ



↑ もぎりたてのみかんを食べる園児ら

広野こども園の園児らは、12月9日(金)、太平洋を望む高台にあるみかんの丘において毎年恒例のみかん狩りを行いました。この日は、天候にも恵まれ、園児らは、たわわに実ったみかんを一つひとつ丁寧に摘み取り、楽しみながら収穫を体験しました。収穫した皮が薄く、やや酸味の強いみかんをさっそくほおばり、旬の味を楽しみました。

沼津学園桐陽高校と町老人クラブとの交流会



↑ 町老人クラブとの交流を深めた桐陽高校の生徒ら

静岡県にある学校法人沼津学園の桐陽高校1年生の生徒93名が11月24日（木）、広野町を訪れ、町老人クラブ関係者との交流会を行いました。交流会では、桐陽高校の生徒に対し、町老人クラブ関係者が震災当時の状況や避難生活などの体験談について話しました。交流会終了後は、広野駅東側開発地区で以前植樹した桜の除草や添え木の手入れ作業を行いました。

この広野町と沼津学園との交流は今回で12回目となります。

東京経済大学チームによる大学生まちづくりコンテストプレゼン発表会



↑ 受賞した東京経済大学学生らとの集合写真(左から5人目と7人目と9人目)

東京経済大学経営学部の学生が12月6日（火）広野町役場において「大学生観光まちづくりコンテスト2022福島復興ステージ」で「福の海」賞を受賞した観光まちづくりプランを発表しました。

今回学生が考えたまちづくりプランは、小学生の夏休みの自由研究に着目し、山や川遊び、農家や漁協での体験などを3年続けて町を訪れるプランであり、地域資源を有効活用した点が評価されました。